

# わざの文化

伝統技術や伝統文化の再認識・再研究が新しい技術・文化の創造につながってきたことはこれまでの歴史が証明しています。戦後日本の発展も実は日本の「わざ」の文化に支えられてきました。しかし、近年の手間を省く日常生活によって、手仕事への蔑視が進み、「手先の器用な日本人」は消え去ろうとしています。それは、伝統技術の衰退となり、取りも直さず、「わざの国日本」の未来への危機となっています。本年度の講座では、このような問題意識に基づいて、伝統の「わざ」から未来の道筋を考えるテーマにしてみました。

## 10月 4日(水) 古代の浄土世界

～美と祈りの造形～

本学教授 後藤 宗俊

## 11日(水) 「わざ」の身体論

放送大学教授・東京大学名誉教授

五味 文彦

## 18日(水) 和歌の心と技

本学教授 浅野 則子

## 25日(水) ネジの技と鉄砲伝来

本学教授 今野 宏之

## 11月 1日(水) 美味に生きる技

本学助教授 島田 淳巳

## 8日(水) 日本の石工

本学教授 段上 達雄

## 15日(水) マンガ・アニメーションの醍醐味

クニ・トシロウ  
本学教授 (白石邦俊)

## 22日(水) 会計と文化

本学教授・学長 西村 明

## 29日(水) Artは長く、人生は短し

～イギリス文学の場合～

本学助教授 河野 豊

## 12月 6日(水) 「わざ」を伝える

～伝統芸能・浄瑠璃の稽古から～

本学専任講師 細田 明宏

## 1月10日(水) アジア歴史文化研究所主催

三浦絞りと豊後絞り

染色作家 安藤 宏子

## 17日(水) 「わざ」としての教育

本学助教授 瀬戸口昌也

## シンポジウム

## 1月13日(土) 特別シンポジウムー文化財学科創設10周年記念

「わざの心～伝統から未来を見つめる～」

パネラー	本学教授 濱島 正士	石州和紙職人 久保田 彰
	本学教授 篠崎悠美子	竹中大工道具館学芸部長 渡辺 晶
	本学客員教授 八尋 和泉	
コーディネーター	本学教授 飯沼 賢司	

会 場 別府大学3号館ホール 入場無料

時 間 水曜日2限目10:40～12:10 1月13日(土)のみ13:00～16:00

お問い合わせ先 0977-67-0101(大学 教務課へ)



後 期

# 市民生活とアーカイブズ 授業計画書

於 3号館ホール  
水曜日4限 14:40~16:10

	内 容	担 当
① 10月 4日	日本のアーカイブズ事情	本学助教授 針谷 武志
② 10月11日	世界のアーカイブズ事情	本学教授 本池 立
③ 10月18日	大分県公文書館の機能と役割	大分県公文書館
④ 10月25日	大分県のアーカイブズ事情 (市町村合併とアーカイブズ)	大分県公文書館
⑤ 11月 1日	大分県の歴史と記録資料	本学教授 末廣 利人
⑥ 11月 8日	大分市の歴史資料保存	大分市歴史資料館
⑦ 11月15日	先哲史料館の機能と役割	大分県立先哲史料館
⑧ 11月22日	先哲資料の編纂と展示活動	大分県立先哲史料館
⑨ 12月 6日	市町村のアーカイブズ	天草アーカイブズ
⑩ 1月10日	大分市歴史資料館と市民	大分市歴史資料館

※タイトルは変更することがある。